

MarkLogic と Tableau で ビジネスインサイトを高める

概要

従来のビジネスインテリジェンス(BI)ツールでは、往々にして特別なスキルが必要です。また、データウェアハウスからの構造化データしか扱えません。このため、ビジネスインサイトを求めるには時間がかかってしまいます。Tableau* とエンタープライズ NoSQL である MarkLogic® を組み合わせることで、構造化/非構造化データの両方に対して 1 つの使いやすいプラットフォーム上でリアルタイムのビジネス分析を行えます。

新しい芸術的技法

MarkLogic と Tableau を連携させて、より多くのデータをより多くの方法でまとめられます。こうすることで、ビジネスアナリストは SNS データと一緒に売上の数値を見たり、CRM/ERP システムの自由回答形式フィールドを活用したりできます。また別個のデータセットをまとめてコンプライアンスレポートを作成したり、患者記録のテキストフィールドから問題のパターンを特定するなど、これまでにない柔軟性とパワーでリアルタイムの活用が実現されます。

リアルタイム BI + 検索 = より大きなパワー

Tableau と MarkLogic の連携により、非構造化データや複雑構造化データをユーザーフレンドリーなインターフェイスで視覚的に分析/探索できます。Tableau 8.2 には、100 %ネイティブで最適化された MarkLogic データソースコネクタがあります。

最高のセルフサービス BI

Tableau では直感的にドラッグ&ドロップでさまざまな分析を行い、得られた知見をすぐに共有できます。また、アナリスト、経営幹部、IT 担当者など、誰もが簡単に分析を利用できます。データへの接続と視覚化を数分で実現し、数回のクリックでダッシュボードの作成・公開が可能です。

唯一のエンタープライズ NoSQL データベース

MarkLogic には、NoSQL テクノロジーの柔軟性と拡張性だけでなく、エンタープライズの機能であるパフォーマンスの信頼性、トランザクション(データの一貫性)、さらにビルトインの検索機能およびアプリケーションサービスが 1 つのプラットフォームとして統合されています。現在 Tableau とライブ接続できる NoSQL データベースは MarkLogic しかありません。

「当社は、企業内の大量データの有効活用を支援しています」

– MarkLogic プロダクトストラテジー担当シニア VP、Joe Pasqua

MarkLogic と Tableau を一緒に使うことで、これまで以上に多様なデータを対象にした調査や結果の提示ができます。この BI ダッシュボードでは、非構造化データに対する全文検索や複雑な検索をインタラクティブにサポートできるだけでなく、セマンティック Web のデータにインテリジェントにかつカスタマイズして対応できます。BI ツール(Tableau を含む)では、データを表形式(行と列)で扱わなければなりません。MarkLogic と Tableau を組み合わせることで、それ以外にも非構造化データをこれまでになくの方法で探索できます。

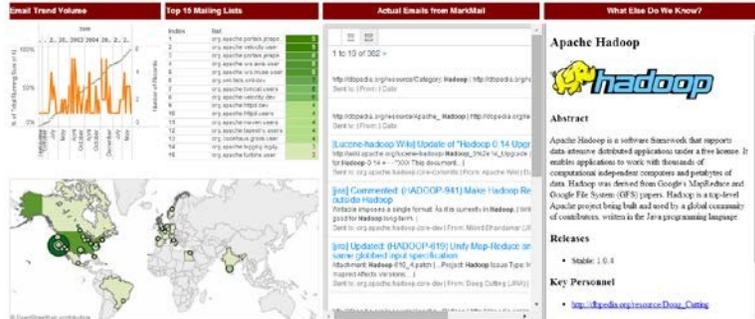


Tableau について

Tableau Software はデータを見て理解できるようにお手伝いします。Tableau により、誰でも瞬時に情報の分析、視覚化、共有ができます。19,000 を超えるお客様が Tableau をオフィスおよび外出先で利用して、迅速な結果を得ています。そして、数万人が Tableau Public によりブログや Web サイト内でデータを共有しています。

MarkLogic について

MarkLogic が提供する、強力、アジャイルで信頼性の高いエンタープライズ NoSQL データベースのプラットフォームは、10 年以上にわたる実績があります。米国政府や大企業をはじめさまざまな組織においてあらゆる種類のデータの価値を高め、実際の活動に繋がる情報をもたらしています。世界中の組織が、MarkLogic がもたらす政府・大企業レベルのテクノロジーを新世代の情報アプリケーションに利用しています。

© 2014 MarkLogic Corporation. All rights reserved. このテクノロジーは米国特許番号 7,127,469B2、米国特許番号 7,171,404B2、米国特許番号 7,756,858 B2、および米国特許番号 7,962,474 B2 で保護されています。MarkLogic は米国およびその他の国における MarkLogic Corporation の商標または登録商標です。ここに記載されているその他すべての商標または登録商標は各社の所有物です。[SS-MLT-14-10]